

厚生労働省「医療系ベンチャー・トータルサポート事業(MEDISO)」を受託

医療系スタートアップの医薬品等シーズ実用化支援を拡充し、国際競争力を強化

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二、以下 MRI)は、厚生労働省から、医療系ベンチャー・トータルサポート事業に係る調査・広報・運營業務を受託しました。本事業では、医薬品等の実用化を目指す医療系スタートアップやアカデミアに対する相談助言、伴走支援、アクセラレーションプログラム等の支援を通じて、革新的な医薬品、医療機器、再生医療等製品(以下 医薬品等)の実用化の促進を目指します。

1. 背景

近年、科学技術が進化し、専門性が増していく中で、革新的な医薬品等の創出におけるスタートアップやアカデミア(以下 スタートアップ等)の重要性が増しています。そのため、厚生労働省は、医療系スタートアップ等を育てるエコシステムを確立し、「保険医療水準のさらなる向上」と「経済成長への貢献」を目指すため、2018 年 2 月に医療系ベンチャー・トータルサポート事業(MEDISO: Medical Innovation Support Office)を開始し、医療系スタートアップ等が有するシーズの実用化を支援する体制を構築しました。

MRI はこれまで、MEDISO の受託事業者として事務局を担い、延べ 1,000 者以上の日本の医療系スタートアップ等を支援してきました。

2. 事業の概要

このたび、厚生労働省は、「経済財政運営と改革の基本方針 2024 ～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～」(骨太方針 2024)を受け、2025 年度から 3 年度の事業として、MEDISO の支援機能を拡充することにしました。

MEDISO では、令和 7 年度から 9 年度までの 3 年度、これまでの相談助言、知財戦略ならびに出口戦略に関する調査支援、各種セミナーやイベントの開催等に加えて、以下のさまざまな支援を展開し、医療系スタートアップ等のシーズの実用化を強力に促進します。

- ・ 米国トップインキュベータを含む国内外のステークホルダーと連携したアクセラレーションプログラム
- ・ 米国等の現地サポーターと連携した海外展開支援
- ・ 米国等の VC と国内の医療系スタートアップ等とのマッチングイベント 等

3. 今後の予定

MRI は、MEDISO をはじめとするさまざまな医療系スタートアップ支援事業において、国内外のパートナー機関と連携し、日本における医療系スタートアップエコシステムの構築を進め、日本の医薬品・医療機器産業の国際競争力を強化し、日本発の革新的な医薬品、医療機器、再生医療等製品の創出に貢献します。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【MEDISO に関するお問い合わせ】

ヘルスケア事業本部 MEDISO 事務局
メール: mediso@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部
メール: media@mri.co.jp